

1. 基本情報

評価対象年度 ( 令和4 年度)

施策コード	311		施策名	母子の健康づくりの支援
将来像	3	子どもたちを健やかに育むまち(「人づくり」の分野)		
まちづくりの基本目標	31	安心して子どもを産み育てられるまち		
担当部署	福祉子ども部		担当課	子育て支援課

2. 施策の方向

10年後の姿	健康診査や予防接種により母子ともに健康が保たれ、母子保健に関するさまざまな相談や情報発信を通じて、子育て家庭が安心していきいきと子育てに取り組んでいます。			
施策の方向性	1	妊娠期からの母子の健康づくりを支援します		
	2	安心して育児に取り組めるよう、母子保健に関するさまざまな情報を発信します		

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和4年度決算額
母子保健事業(ネウボラ事業)	1, 2	子育て支援課	36,918
妊婦健康診査事業	1	子育て支援課	34,850
両親学級事業	1, 2	子育て支援課	732
妊婦・乳幼児歯科健診等事業	1	子育て支援課	2,544
任意予防接種事業	1	子育て支援課	13,300
総事業費(施策の合計)			88,344

4. まちづくり指標

指標情報				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
①	名称	こんには赤ちゃん事業(全戸訪問)の訪問率		目標値	99.6	99.6	99.6	99.6	
	説明	生後4か月までの乳児がいる家庭に対する訪問	単位 %	実績値	100.0	99.7			
	抽出方法	所管課統計		達成率	100.4%	100.1%			
②	名称	乳幼児健診の受診率		目標値	98.0	98.0	97.0	98.0	
	説明	3~4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児	単位 %	実績値	96.4	98.0			
	抽出方法	所管課統計		達成率	98.4%	100.0%			
③	名称	産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師などから指導・ケアを十分に受けることができたと思う人の割合		目標値	-	85.0	85.5	88.5	
	説明	—		単位 %	実績値	82.4	82.1		
	抽出方法	所管課統計		達成率	-	96.6%			

5. 評価(令和4年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	総合評価(成果、投入財源等を総合的に評価) 維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 母子健康手帳アプリを導入し、年度末にはユーザー数550人程度まで伸びた。プッシュ通知機能を活用し、お知らせを積極的に配信した。</li> <li>● 株式会社千趣会と子育て支援の推進に関する連携協定を締結し、当該企業の持つノウハウを今後本市の子育て支援施策に生かしていくことが期待できる。</li> <li>● 令和5年3月より伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業を開始した。</li> <li>● 多胎児を養育する家庭の支援として移動経費の補助と妊婦健診費用の補助を開始したが、利用は数件にとどまった。</li> </ul>

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している  
維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある  
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和4年度からの変更点	旧健康センターがしあわせ未来センターとして開館し、新型コロナウイルス感染症も5類に移行したことから、少数・個別の対応をしていた健診等を従前の集団対応に戻しつつある。また、しあわせ未来センターに子供に関する相談機関が集約され、連携が強化された。
-------------	---

7. 施策を進める上での課題

① 施策を進める上での課題	協力医師の確保が課題である。
① 課題に対する令和6年度以降の取組	市内には産婦人科医院がなく、所沢市、新座市、富士見市のいくつかの産婦人科医院に委託をしている。小児科医も少ないため、清瀬市医師会以外に多摩北部医療センターや昭大病院からの医師の派遣や、個人の医師とも契約をしている。更なる医師の確保を進める。